

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	建設計画課 工事管理課	電話番号	直通	989-5520 989-5518
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ			
政策	快適で便利なまちの実現		施策分野	生活空間
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	270,852 千円	今年度 予算額	178,075 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	市街化区域内における町 民1人当たりの都市公園 面積	目標値	2.00	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	㎡/人	C
		実績値	1.48	1.81						
2	今後も町内に住みたい町 民の割合	目標値	82.0	82.0	86.0	86.0	86.0	86.0	%	A
		実績値	85.7	82.7						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			C：進捗が思わしくない		

事前分析

施策分野におけるこれまでの取り組みの概要	空白地域解消に向けた公園・広場の整備、既存公園の老朽化したトイレ・遊具等の更新、鮎壺公園・下土狩駅周辺のにぎわい創出のための都市再生整備計画事業の実施、良好な景観形成のための景観計画等の策定・改定、住宅施策推進のための住宅マスタープランの策定、空き家の有効活用を図るための空き家バンク事業及び空き家改修補助事業、空き家の発生抑制のための非居住住宅の除却に係る土地の固定資産税減免制度、都市の将来像を示す都市計画マスタープランの策定・改定、居住や都市機能の誘導及び区域の防災指針を示す立地適正化計画の策定・改定、都市の魅力向上のための緑の基本計画の策定・改定
施策分野における背景・環境及び抱えている課題	・多世代の方が身近に憩える場を求める住民のニーズがあることから、継続的な公園、広場の整備改修が必要である。 ・鮎壺公園の利用促進及び下土狩駅周辺の年間を通じた賑わい創出のため、民間主導のイベントの定期開催等の仕組みの構築が求められる。 ・県全体で景観施策を推進していることから、景観計画に基づく良好な景観形成が、より一層必要である。また、道路整備等に合わせた無電柱化の推進も求められている。 ・空き家の流通数が限られており、空き家バンク事業や空き家改修補助事業等の利用状況が低調になっている。一方で、雑草が繁茂している等の管理が不適切な空き家の苦情、相談は増加傾向にある。 ・緑の基本計画の改定（R7）に際して、策定委員会から緑の施策の推進に係る進捗管理、及び次回改定時における目標値や内容の見直しについて意見が挙げられた。
施策分野における改革・改善内容及び今後の見通し	・新たな公園、広場の整備を拡充し、誰もが安全快適に利用できる遊具等の公園設備の更新を継続していく。なお、整備等にあたっては、緑の基本計画に掲げる目標、方針に基づき、計画的に実施する。 ・当町の空き家率は13.8%であり、県平均16.7%に比べ低いものの全国平均と同率になっている。空き家対策に係る事業を推進するため、空き家に関する協定を締結している（公社）県宅地建物取引業協会へ、空き家バンク事業等の利用について定期的に働きかけを行っていく。また、管理が不適切な空き家については、対応マニュアル等の整備を行い、所有者に対して適正管理を促していく。